

(様式2)

教職員研究グループ活動状況報告書

代表者の所属・職・氏名	川西市立多田小学校 教頭 平瀬 史明	研究グループ名 学校経営研究会	20
-------------	-----------------------	--------------------	----

研究テーマ分類番号 ( 18 )

(1) 研究テーマ

創意と活力に満ちたこれからの時代の学校運営のあり方と、学校評価の効果的な運用に関する研究

(2) 研究経過及び具体的な取組

第1回研究会	6月10日(火)	教育情報センター	年間計画の作成 「川西市の教育」本年度の重点課題について <参加者24名>
第2回研究会	6月25日(火)	教育情報センター	テーマ別研修『管理職が校内研修にどうかかわるか』 講師:大阪教育大学教授 <参加者22名>
大阪教育大学教授を講師に「管理職が校内外研修にどう関わるか」という演題で研修を行った。講義形式だけではなく、各校の校内研究の現状や課題の交流を行い、管理職として何をすべきかを考え進めていった。キーワードは、「自ら学ぶ」ということで、管理職が教員の「学び」のモデルとなり、推進リーダーの発掘、運営のコーディネートなどを進めていく必要があるというものであった。また、1年の計画ではなく3年くらいの見通しを持ち、個人・少人数・グループ・全員と計画の策定ポイントを明確にし、推進していく必要性を感じた研修であった。			
第3回研究会	7月 8日(水)	教育情報センター	テーマ別研修『学校教育への支援と行政施策』 講師:川西市教育委員会 教育委員会事務局として取り組むべきことがら 学校において取り組むべきことがら 「教職員の育成・学力向上」 <参加者23名>
第4回研究会	7月15日(火)	教育情報センター	テーマ別研修『業務改善～事務職員とともに～』 事務職員部との合同研修会 ・勤務時間の適正化に向けた取り組み例 ・情報の共有化や手続きの標準化の取り組み例 ・事務的作業を組織的に機能させるために <参加者24名>
第5回研究会	8月19日(火)	教育情報センター	校種別別研修『学校運営上の問題点について』 ・組織対応について <参加者21名>
第6回研究会	9月17日(水)	教育情報センター	校種別別研修『教育委員会との連携について』 ・懇話会の開催にむけて ・スムーズな連携、事務量のスリム化に向けて <参加者23名>
第7回研究会	10月21日(火)	教育情報センター	校種別別研修『危機管理～地域の中核を担う～』 ・災害への備えについて学校ができること ・避難所対応についてのマニュアルの確認を ・学校への災害時備蓄物資について <参加者22名>
—以下予定—			
第8回研究会	11月18日(火)	教育情報センター	校種別別研修『学校評価について』 ・保護者アンケートの交流

第9回研究会 12月16日(火) 教育情報センター テーマ別研修『若手教職員を育てるために』  
講師:兵庫県教育委員会

第10回研究会 1月20日(火) 生涯学習センター テーマ別研修『外部からみる公教育』  
講師: 未定

第11回研究会 2月17日(月) 生涯学習センター 研修の成果と今後の課題

## 成果と課題

### (1) 成果

- ・ 創意と活力に満ちたこれからの時代の学校運営のあり方と、学校評価の効果的な運用に関する研究をテーマに研修を重ねた。今年度は、「創意と活力」を学校内（組織内）のスムーズな連携と人材育成に関する事、及び、校内研修の充実に関する事を中心として、小中学校情報交換も交えながら研修を進めた。

特に、事務研との合同研修会においては、学校事務の「属人性から属市性へ」の部分において、事務文書の整理方法を市内共通のものとし、学校間での差をなくし、どこでも同じように仕事をする仕組み作りを行っているという内容は、教頭会の業務改善への参考となる部分が多く、今後、教頭業務の「属市性」を構築するうえで、非常に参考になった。

また、教育諸問題への対応についても、初期対応の重要性、情報の共有、組織的な対応等々、学校間交流により具体的な方法を学ぶことができた。その方法を、若手教職員がしっかりと学んでいけるよう、ミドルリーダーの育成も急務であることがわかった。

### (2) 課題

- ・ 学校評価については、学校運営への効果的な運用方法の研修までには至っておらず、各校の実績交流から始める予定である。